



カーボンリサイクル・火力発電の脱炭素化技術等国際協力事業
／カーボンマネジメントに係る国際連携事業
／カーボンリサイクル等に関する国際会議及び情報発信等事業
公募説明会

2026年1月29日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

サーキュラーエコノミー部

目 次

1. 事業概要
2. 事業内容
3. 公募提案に関する説明

1. 事業概要

1. 事業概要

- ・2050年カーボンニュートラルの目標達成のために有力とされるカーボンリサイクル、カーボンマネジメントについて国際的な議論を行う場として、NEDOでは各分野の会議を開催している。
- ・近年、IEA等の国際機関からも重要視されているCCUSについても、今後は産業界・自治体・学術界が連携し、国際的な技術協力や制度整備を進めることが求められている。
- ・国内外の有識者等からの意見を聴取することで、対象の技術分野に関する知識を深化させ、各技術分野における国際連携の今後のあり方を検討し、情報発信、情報交換を行う。

2. 事業内容

- (1)カーボンリサイクルに関する国際会議の企画立案
- (2)カーボンリサイクルに関する国際会議の運営業務
- (3)CCUS等を含むエネルギー分野に係る国際会議
及び調査等の企画・運営業務

- (1) カーボンリサイクルに関する国際会議の企画立案
- (2) カーボンリサイクルに関する国際会議の運営業務
- (3) CCUS等を含むエネルギー分野に係る国際会議及び調査等の企画・運営業務

カーボンリサイクルに関する国際会議 概要



カーボンニュートラル実現のキーテクノロジーであるカーボンリサイクルについて、各国が将来的な社会実装に向けた技術開発・実証に取り組むことを確認するとともに、各国間の協力関係を強化すべく、情報交換・議論を実施する。

前回の開催概要

- ・第7回カーボンリサイクル産学官国際会議2025
- ・開催日:2025年10月10日(金) 13:00～18:00
- ・主 催:経済産業省、NEDO
- ・会 場:ヒルトン大阪／オンライン併用
- ・参加者数:約650名(現地参加250名、オンライン400名)
- ・使用言語:英語／日本語(同時通訳付き)
- ・会議ポータルサイト:<https://carbon-recycling2025.nedo.go.jp/>

カーボンリサイクルに関する国際会議 2026年度の開催概要(案)



日 程: 2026年9月下旬～10月上旬(予定)のうち1日

主 催: 経済産業省、NEDO

場 所: 東京周辺

本会議

開催規模: 国内外の関係者約1,000名を想定(オンライン聴衆者を含む)(2025年度: 対面約250名、オンライン約400名)

開催方式: ハイブリッド方式(会場来場 + オンライン配信)

会議構成: 次ページ参照

主催者と綿密な打合せの上、プログラムを策定すること

使用言語: 日本語／英語(同時通訳による2言語出力)

サイドイベント(本会議と並行して実施)

ポスターセッション、学生・研究者交流会を開催予定

カーボンリサイクルに関する国際会議

2026年度の会議構成(案)



時間帯	イベント	内容・備考
AM 2時間程度	学生・研究者交流会	カーボンリサイクル技術開発や社会実装を担う次世代の若者(大学生等)が、国内外の技術者・研究者と直接交流、意見交換ができるイベントを実施する。
12:00-13:00	ポスターセッション	本会議会場付近にポスターセッション会場を設け、展示者と参加者が自由に交流できる場を提供する。
13:00-17:00	本会議	本会議のプログラム構成案は次ページ参照。 休憩時間にはポスターセッション会場を開放する。
17:00-18:30	ネットワーキングセッション	ポスターセッション会場にてネットワーキングセッションを開催することで、登壇者・展示者・参加者が活発に交流できる場を提供する。

カーボンリサイクルに関する国際会議 2026年度の本会議構成(案)



従来

国内外政府関係者や有識者によるCO₂利活用に関するパネルディスカッションを中心とした構成



2026年度

- ・CO₂利活用の出口だけでなく分離回収を含めたプロセス全体を扱う
- ・情報発信を中心としたプログラム

開会式

基調講演1～2件程度

技術情報講演3～4件程度

パネルセッション1件(モデレーター1名、パネリスト3名程度)

閉会式

を基本とし、3.(1)の受託事業者が主催者(経産省・NEDO)と打合せの上策定する

(1)カーボンリサイクルに関する国際会議の企画立案 仕様



- ・ 対象技術分野の抽出、要点整理
- ・ 技術分野を構成する個々の技術等(以下「対象技術等」という。)の国内外における技術レベルの現状と課題(特に、過去にカーボンリサイクルに関する国際会議のセッションで取り上げた対象技術等と類似の対象技術等の課題の整理)
- ・ 対象技術等のカーボンリサイクル技術普及への寄与の可能性
- ・ 対象技術等の展開・普及に向けた政策や事業環境のあり方
- ・ 本会議における各セッションの企画の具体化、それに基づく登壇候補者の提案及び登壇者確定までの調整、本会議における各セッションの進行や議事についての関係者打合せ対応(資料作成含む)、登壇者、賓客等向け招待状・御礼状の作成
- ・ サイドイベント(ポスターセッション、学生・研究者交流会等)の企画立案
- ・ カーボンリサイクルに関する国際会議のセッション関連資料等の作成
- ・ カーボンリサイクルに関する国際会議当日及び事後対応
- ・ 会議を総括する文書案及び報告用ブリーフィング資料案の作成
- ・ 会議運営業務との連携
- ・ 2027年度のプログラム、登壇候補者のリストアップを含む次回以降の開催に資する引継ぎ資料の作成

(2)カーボンリサイクルに関する国際会議の運営業務 仕様



- ・国際会議事務局立ち上げ
- ・会場手配、会場設計、運営マニュアル・進行台本等の作成
- ・登壇者の連絡調整、旅行手配
- ・動画事前収録
- ・Web会議システム、Web配信システムの手配
- ・人員手配(司会、スタッフ、通訳、カメラマン、警備)
- ・国際会議当日運営ポスターセッションの設営(本会議、サイドイベント)
- ・ポータルサイト作成、運営、保守含む広報、発信業務
- ・テープ起こし原稿の作成・翻訳

カーボンリサイクルに関する国際会議 作業スケジュールイメージ



4月～5月	<ul style="list-style-type: none">・委託業務開始、関係者顔合わせ、会場下見等・会議の具体的企画の検討、確定(セッション構成、サイドイベントなど)・会議本番に向けた定例会の開始
6月～7月	<ul style="list-style-type: none">・本会議セッションの登壇候補者へのアプローチ(声掛け、依頼状・アドミサークリューラー送付など)・サイドイベントの企画、関係者への声掛け、協力要請など・会議ポータルサイト開設・集客等の開始
8月～9月上旬	<ul style="list-style-type: none">・各セッションにおける議論の進め方や学生・研究者交流会の進行などについて、登壇者などと意見交換・METI及びNEDOが組織内説明・情報共有を行うための資料作成・会議の広報・集客活動 等
9月下旬～10月上旬	<ul style="list-style-type: none">・カーボンリサイクルに関する国際会議(仮称)開催
会議終了後～1月	<ul style="list-style-type: none">・事後処理・報告書作成素案作成
1月～3月	<ul style="list-style-type: none">・次年度プログラム、登壇候補者のリストアップ

- (1)カーボンリサイクルに関する国際会議の企画立案
- (2)カーボンリサイクルに関する国際会議の運営業務
- (3)CCUS等を含むエネルギー分野に係る国際会議及び調査等の企画・運営業務**

CCUS等を含むエネルギー分野に係る国際会議及び 調査等の企画・運営業務



エネルギー分野に係るネットワークの形成、強化、情報発信、日本の火力発電の脱炭素化技術等の国際的な展開及び各国における技術導入のための環境整備を目的として、受託者の企画立案により、各國専門家・発電事業関係者・政策立案者等を対象とした国際会議を行い、関係機関、関係者との情報交換を実施する。加えて、日本の火力発電の脱炭素化技術等の国際的な展開に向けた調査及び、世界情勢や我が国及び諸外国の方針等によってNEDOが要請する会合の企画・運営を実施する可能性がある。

前年の開催概要

- ・第34回クリーン・コール・デー国際会議(2025)
- ・開催日:2025年9月4日(木) 9:30~17:40
- ・会 場:虎ノ門ヒルズ森タワーメインホール／オンライン併用
- ・使用言語:英語／日本語(同時通訳付き)

CCUS等を含むエネルギー分野に係る国際会議及び 調査等の企画・運営業務



前年のプログラム: <https://ccd2025.jp/>

09:30-10:00 開会セッション

09:45-10:00 基調講演Ⅰ 東南アジアにおける公正で持続可能な
エネルギー転換に向けた取り組み

10:15-12:20 セッションⅠ 電力需要拡大がもたらす政策の最新動向

13:30-13:45 基調講演Ⅱ 業界における脱炭素の取組み

13:45-15:35 セッションⅡ 脱炭素化技術と石炭活用の共存戦略

15:50-16:05 特別講演Ⅰ エネルギー移行期における石炭の戦略的役割

16:05-16:20 特別講演Ⅱ

16:20-17:50 セッションⅢ 脱炭素化と現実的なエネルギー以降

事業内容 (1)～(3)共通事項



事業期間

NEDOが指定する日(2026年度)から2027年3月31日まで。

予算額

事業全体125百万円以下

3.(1)について 20,000千円程度

3.(2)について 80,000千円程度

3.(3)について 25,000千円程度

※予算規模については変動がありうる。

報告書

調査期間終了時には、NEDOプロジェクトマネジメントシステムにより成果報告書の電子ファイル(PDFファイル形式)を所定の期日までに提出。

提出方法:「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

3. 公募提案に関する説明

応募要件

応募資格のある法人は、次の①～③までの全ての条件を満たすことのできる、単独又は複数で受託を希望する企業・大学等とします。

- ① 当該技術又は関連技術の調査実績を有し、かつ、調査目標達成及び調査計画遂行に必要となる組織、人員等を有していること。
- ② 委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、資金及び設備等の十分な管理能力を有し、かつ、情報管理体制等を有していること。
- ③ NEDOが事業を推進する上で必要とする措置を、委託契約に基づき適切に遂行できる体制を有していること。

提出期限・提出方法

提案書様式の記載に沿って「提案書」を作成し、その他の提出書類とともに以下の提出期限までに電子申請システム「Jグランツ」上で申請してください。なお、持参、郵送、FAX又はE-mailによる提出は原則受け付けません。

【提出期限】2026年2月24日(火)正午まで

※応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトの公募ページ上でお知らせいたします。

【提出先】Jグランツ公募ページ申請URL

[https://www.jgrants-
portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDWaRMAX?wfid
=a0XJ2000006cMBEMA2](https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDWaRMAX?wfid=a0XJ2000006cMBEMA2)

公募提案に関する説明



提案電子申請システム「Jグランツ」上で、必要項目を入力し提出書類をアップロードした上で申請してください。複数法人による共同提案を行う場合は、代表法人が提出書類を取りまとめの上、代表法人が申請を行ってください。代表法人以外の法人のJグランツ上の申請は不要です。

Jグランツの使用にあたっては、事前にGビズIDの「GビズIDプライムアカウント」または「GビズIDメンバーアカウント」が必要です。GビズIDの取得は2週間以上かかる場合もあるため、GビズIDを未取得であれば余裕をもって登録手続きを行ってください。

その他GビズIDの取得やJグランツ利用・申請にあたっては、以下のウェブサイトをご確認ください。

【参考】NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について

<https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN100061.html>

提出書類

- ・ 提案書
- ・ 提案者情報
- ・ ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
- ・ NEDO事業遂行上に係る情報管理体制の確認票及び対応エビデンス
- ・ 直近の事業報告書
- ・ 直近3年分の単体／連結財務諸表
※貸借対照表、損益計算書(販売費及び一般管理費明細書を含む)、株主資本等変動計算書を含めてください。
- ・ 契約書(案)についての疑義の内容を示す文書 (必要な場合のみ)
- ・ 提出書類のチェックリスト

提出にあたっての留意事項

- 複数の項目について提案する場合は、項目ごとに提案書を分けて作成してください。
- Jグランツ上の申請は提出期限を厳守してください。期限までに申請完了できなかった場合は応募は受付できませんので余裕をもって申請してください。
- 応募要件を満たさない者の提出書類や不備がある提出書類は不受理とさせていただきますのでご注意ください。
- Jグランツ上にアップロードするファイルは1つのzipファイルにまとめてください。アップロードするファイルにはパスワードを付けないでください。
- Jグランツ上で申請する際は以下の項目の入力をお願いいたします。
 - ①代表法人名称及び共同提案法人名称
 - ②提案概要(300文字以内)
 - ③提案内容・手法のポイント(600文字以内)
 - ④責任者名(所属部署・職名含む)(責任者は業務管理者を指す。)
 - ⑤利害関係者

審査方法

- 外部有識者による採択審査委員会とNEDO内の契約・交付審査委員会の二段階で審査を行います。
- 事務局より提案内容についての問合せやヒアリングを実施したり、追加資料の提出を求めたりする場合があります。
その場合は期日までにご対応をお願いいたします。
- 委託先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんので予めご了承ください。
- 審査事項や審査基準は、公募要領7ページをご参照ください。

委託先選定～事業開始までのスケジュール

2月24日 :公募〆切
※応募状況によっては公募期間を延長します。

3月中旬(予定):採択審査委員会(外部有識者による審査)

3月下旬(予定):契約・交付審査委員会

4月上旬(予定):採択先決定
委託業務開始

4月上旬(予定):採択先をウェブサイトに公表

5月下旬(予定):業務委託契約締結

その他留意事項

- ・ 本調査事業は実施内容3.(1)、(2)、(3)のそれぞれについて個別又は複数の項目に提案する「部分提案」も、全体について提案する「全体提案」も可能とします。なお、複数の実施内容についての提案であっても、審査の結果、内容の一部のみを採択する場合があります。
- ・ 再委託をする場合、再委託金額はNEDOからの委託金額全体の50%以下までとされています。
- ・ 国内外との短期間での調整や追加での調査、事務作業の発生の可能性がありますので、臨機応変な対応をとれる体制でご提案ください。
(提案書に具体的な体制をご記載ください。)
- ・ 本事業は、2026年度の政府予算に基づき実施するため、予算案等の審議状況や政府方針の変更等により、公募の内容や採択後の実施計画、概算払いの時期等が変更される場合があります。

本公募に関する問合せ

受付期間:2026年1月23日(金)～2月20日(金)

問合せ先:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
　　サーニュラーエコノミー部 野田、渡邊、佐藤、庄司、讚岐

E-mail: [Int-co26\[*\]ml.nedo.go.jp](mailto:Int-co26[*]ml.nedo.go.jp)

※E-mail は上記アドレスの[*]を@に変えて使用してください。

ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

ご清聴ありがとうございました
ご応募お待ちしております



ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！



NEDO
(@nedo_info)



NEDO【英語版】
(@nedo_info_en)



NEDO



スタートアップクラブ



NEDO Channel



NEDO PR Channel

